

エイズ・性感染症をテーマにした予防啓発・情報発信、 思春期ピアカウンセラー養成講座への協力

取り組みに至る背景・事業の目的

- 思春期は、社会的な環境要因に左右されることも多く、思春期の問題が障害に影響することも考えられ、非常に重要な時期である。近年は、思春期における性行動の活発化・低年齢化による性感染症の増加、薬物乱用、喫煙、飲酒の増加傾向が障害に影響を及ぼし、あわせて不登校、引きこもりなどの心の問題も社会問題化している。
- 思春期の子ども達は、身近で最も信頼できる相談相手として同年代の仲間を選んでいる。このような仲間（PEER）を通じ、同年代の若者が正しい知識を持ち、生き方や性に関する態度や行動を意思決定できる能力を高める。

事業内容

- 第31回日本思春期学会総会・学術集会での一般口演発表
平成24年9月1日（土）、2日（日） 2名発表
- 平成24年度「すこやかな妊娠と出産アフリカ地域ワークショップ」視察研修における思春期ピアカウンセラーとの交流会
平成24年10月8日（月）14名出席
- 「エイズ・性感染症」をテーマにした予防啓発活動
 - ・地元LCVラジオ放送による啓発活動 月1回 計12回
 - ・「世界エイズデー」の予防啓発 2回 他
- 平成24年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催協力
長野県が主催する養成講座に企画、アシスタント協力等



【日本思春期学会発表の様子】

事業効果

- 同年代のピアカウンセラー達が諏訪地域で普及啓発活動を実施することで、諏訪保健福祉事務所でのHIV/性感染症相談検査受診率が45%（20～30代）と、前年の40%より向上した。
- 思春期学会では131演題が発表され、他の団体や日本でピアカウンセラーを立ち上げた代表者等から、諏訪地域でのピア活動の取組を評価された。
- 女性の活動を支える取組をする国際ソロプチミストから学生ボランティア賞を受賞した。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取り組みなど

- 工夫した点は、活動それぞれの担当者を決めて計画を立てメンバーと共に実行したことや、諏訪保健福祉事務所の保健師さんと共に活動し、広い範囲で活動を提案して頂いたことで活動の幅が広がった。
性感染症についてのエクササイズを行った際、参加者から「感染の広がりが見えてわかった」などの言葉が聞かれた。性についての情報を扱うことには抵抗のある人もいるが、親しみやすい態度や方法で行うことで受け入れやすくなり、理解を深めることができた。
- 苦勞した点は、毎回対象者の年齢が異なるため対象者に合わせたわかりやすい内容にすること、学業とピアの活動の両立である。
- 今後は、より多くの人にピアの活動を知って貰うとともに、少しでも多くの依頼に応え、同年代の若者が正しい性知識を持ち、自分自身の将来を大切に出来るような活動を継続していきたい。

【選定のポイント】

ピアカウンセラーによる相談を通じ、思春期の子どもたちの生き方や性に対する態度・行動を意思決定できる能力の向上が期待される。

団体名	SUWA FRESH PEER（諏訪市） （思春期ピアカウンセラー）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	諏訪赤十字看護専門学校 0266 - 57 - 3275	事業費	204,320円
		支援金額	204,000円